

CS-T10は、IC-S10/IC-T10をパソコンで設定するためのプログラミングソフトウェアです。
本書では、CS-T10の動作環境とインストール手順、プログラミングの基本操作について説明しています。
※各設定項目の詳細については、CS-T10のヘルプをご覧ください。

動作環境

CS-T10をご使用いただくには、次の動作環境が必要です。

◎対応OS

Microsoft Windows 11 (64ビット)
Microsoft Windows 10 (32/64ビット)
Microsoft Windows 8.1 (32/64ビット)
※ Windows RTなどのARM版Windowsは除きます。

※上記OSに対応しているすべてのパソコンでの動作を保証するものではありません。

※本書では、Microsoft Windows 10を例に説明します。

◎[USB]ポート(USB1.1/USB2.0)

◎プログラミングケーブル

無線機とパソコンを接続するためのクローニングケーブルとして、OPC-478UC*、またはOPC-478UC-1が必要です。

★ Windows 11の場合は、OPC-478UC-1をご用意ください。
「B」の印字のないOPC-478UCは、Windows 10やWindows 8.1に対応していません。(下図参照)



※ USBドライバのインストール方法などについては、ご使用になるケーブルの取扱説明書をご覧ください。

プログラミングするときの注意

◎無線機のデータ消失を防ぐため、最初に無線機からCS-T10に読み込んだ設定データを、バックアップとしてパソコンなどに保存しておくことをおすすめします。

※ 設定データをバックアップしておくこと、無線機のデータを消失したときでもデータを復元できます。

◎無線機とパソコンの間でデータの読み書きをしているときは、絶対に無線機やパソコンの電源を切ったり、プログラミングケーブルを抜いたりしないでください。途中で電源を切ったり、プログラミングケーブルを抜いたりすると、データの破損や消失の原因になります。

◎設定データを無線機に読み込んでいるときは、絶対に無線機の電源を切らないでください。途中で電源を切ると、データの破損や消失の原因になります。

CS-T10の更新について

機能の拡張や改良のため、無線機のファームウェアが更新されることがあります。

弊社ホームページからアップデートファイルをダウンロードし実行することで、最新の内容に更新できます。

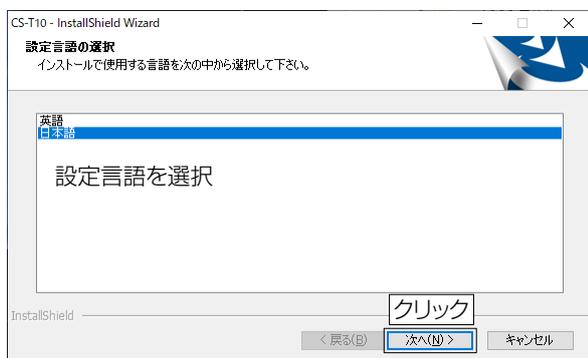
※ 新しいファームウェアの無線機を接続してCS-T10を使用すると、「接続された無線機とプログラミングソフトウェアとの互換性がありません。」などのエラーメッセージが表示される場合があります。

その場合は、お使いのファームウェアのバージョンに対応したCS-T10を弊社ホームページからダウンロードし、インストールしてください。

<https://www.icom.co.jp/support/personal/>

CS-T10のインストール

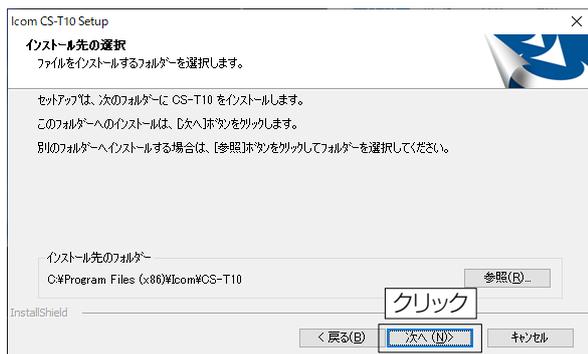
1. 管理者権限でサインインします。
※ ほかのソフトウェアを起動しているときは、すべて終了してください。
2. 弊社ホームページからダウンロードしたファイルを解凍後、インストーラーの保存先を指定してください。
3. 「setup.exe」をダブルクリックして、インストーラーを起動します。
※ 「ユーザーアカウント制御」画面が表示されたら、〈はい〉をクリックします。
※ ご使用のパソコンで、ファイルの拡張子を表示したいときは、「エクスプローラーのオプション」の表示設定を変更してください。
4. 「設定言語の選択」画面で、言語を「日本語」または「英語」から選択し、〈次へ(N)>〉をクリックします。



5. 「CS-T10のInstallShield Wizardへようこそ」画面で、〈次へ(N)>〉をクリックします。



6. 「インストール先の選択」画面で、〈次へ(N)>〉をクリックします。
※ 別のフォルダーを選択する場合は、〈参照(R) ...〉をクリックし、任意のフォルダーを選択します。



7. インストール完了後、「InstallShield Wizardの完了」画面が表示されたら、〈完了〉をクリックします。



- ・ 〈スタート〉(ロゴボタン) → [すべてのアプリ] に、[Icom CS-T10]のショートカットが作成されます。また、デスクトップにプログラミングソフトウェア〈Icom CS-T10〉のショートカットが作成されます。



CS-T10のヘルプ

CS-T10の操作方法や設定項目について詳しくは、ヘルプをご覧ください。

ヘルプは、[ヘルプ(H)]メニューから[CS-T10ヘルプ(C)]を選択するか、パソコンのキーボードで[F1]キーを押すと表示されます。

CS-T10をアンインストールするときは

〈スタート〉(ロゴボタン) → [設定] → [アプリ]にある [アプリと機能] からアンインストールできます。

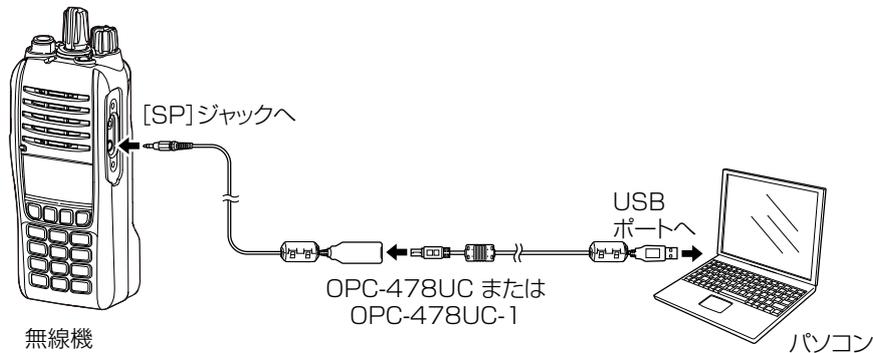
プログラミングのしかた

無線機をプログラミングする場合は、次の手順にしたがって操作してください。

- Step 1** パソコンと無線機をプログラミングケーブルで接続する
- Step 2** イニシャルセットアップをする
- Step 3** 無線機の設定データを読み込む(P.4)
- Step 4** 設定データを編集する(P.4)
- Step 5** 編集した設定データを無線機に書き込む(P.4)

Step 1 パソコンと無線機をプログラミングケーブルで接続する

1. USBドライバーをパソコンにインストールします。
※ インストール方法などについては、ご使用になるプログラミングケーブルの取扱説明書をご覧ください。
2. 無線機の電源が切れていることを確認します。
3. プログラミングケーブルを接続します。(下図参照)
4. 無線機の電源を入れます。



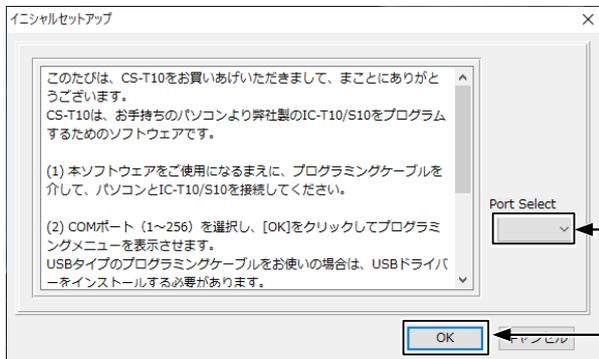
Step 2 イニシャルセットアップをする

CS-T10を起動すると、「イニシャルセットアップ」画面が表示されます。本ソフトウェアをご使用になる前に、ご使用になる無線機のバージョン情報を取得するため、イニシャルセットアップをしてください。

1. **<▼>**をクリックし、表示されるリストから接続されているCOMポート番号を選択して**<OK>**をクリックします。
2. **<OK>**をクリックします。
 - ・ CS-T10の操作画面が表示されます。

ご注意

- ◎はじめてご使用になるとき、イニシャルセットアップをしないで起動すると、設定画面に表示されない項目があります。
- ◎再度、イニシャルセットアップをする場合は、**<スタート>** (ロゴボタン)→**[すべてのアプリ]**→**[Icom CS-T10イニシャルセットアップ]**をクリックしてください。

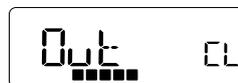


Step 3 無線機の設定データを読み込む

接続した無線機のメモリーチャンネル、SETモードの各設定、スキャンエッジなどの設定データをCS-T10に読み込みます。

- CS-T10のをクリックするか、[プログラム(P)]メニューの[読み込み←無線機(R)]を選択します。
 - 無線機からの設定データの読み込みが開始されます。
 - CS-T10への読み込みが完了すると、無線機が再起動されます。

無線機の表示



読み込み中

ご注意

無線機の元の設定データが消失しないよう、読み込んだ設定データをパソコンに保存しておくことをおすすめします。

Step 4 設定データを編集する

- 読み込んだ設定データをCS-T10で編集します。
 - ※ 操作方法や設定項目の詳細については、CS-T10のヘルプをご覧ください。
 - ※ 編集した設定データは、ICFファイルとして保存できます。必要に応じて、[ファイル]→[名前を付けて保存(A) ...]、または[上書き保存(S)]を選択し、パソコンの任意のフォルダーに保存してください。

既存の設定データを編集するときは

操作画面のをクリックするか、[ファイル(F)]→[開く(O)...]をクリックし、設定データ(ICFファイル)を選択して<OK>をクリックします。

Step 5 編集した設定データを無線機に書き込む

CS-T10で編集したメモリーチャンネル、SETモードの各設定、スキャンエッジなどの設定データを無線機に書き込みます。

ご注意

書き込みを実行すると、無線機の現在のデータに上書きされます。

- をクリックするか、[プログラム(P)]メニューから[書き込み→無線機(W)]を選択します。
- 確認画面で、<OK>をクリックします。
 - 無線機への書き込みが開始されます。
- 無線機の電源を入れなおします。

無線機の表示



書き込み中



書き込み完了

メモリーチャンネルのインポート

メモリーチャンネル(CSVファイル)は、下記の手順でCS-T10を使用してインポートできます。

※下記の手順で無線機の設定データをCS-T10に読み込み、メモリーチャンネルをインポートしてから、設定データ全体を無線機に書き込んでください。

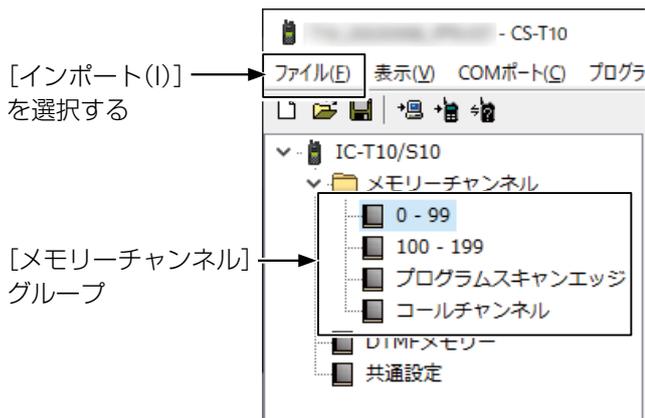
1. 無線機の設定データを読み込む

1. 無線機の設定データ(ICFファイル)をCS-T10に読み込ませます。(P.4)

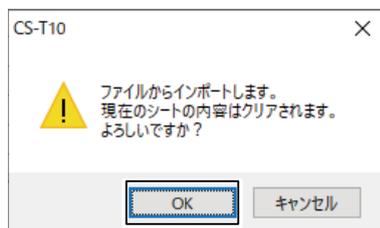
※無線機の設定データを消失させないために、メモリーチャンネルをインポートする前に、設定データをパソコンに保存しておくことをおすすめします。

2. CSVからメモリーチャンネルを取り込む

1. CS-T10ツリービュー画面から、[メモリーチャンネル]フォルダーをダブルクリックします。
2. リストを取り込むメモリーチャンネルグループを選択し、[ファイル(F)]→[インポート(I)]をクリックします。



3. 「ファイルを開く」画面で、インポートするファイル(CSVファイル)を選択し、〈開く(O)〉をクリックします。
4. 確認画面で〈OK〉をクリックします。



登録商標/著作権

アイコム株式会社、アイコム、Icom Inc.、アイコムロゴは、アイコム株式会社の登録商標です。

Microsoft、Windowsは、マイクロソフト企業グループの商標です。

なお、本文中ではTM、®などのマークを省略しています。

本書の内容の一部、または全部を無断で複製/転用することは、禁止されています。

本ソフトウェア、および本ドキュメントは、アイコム株式会社が著作権を保有します。

メモリーチャンネルのエクスポート

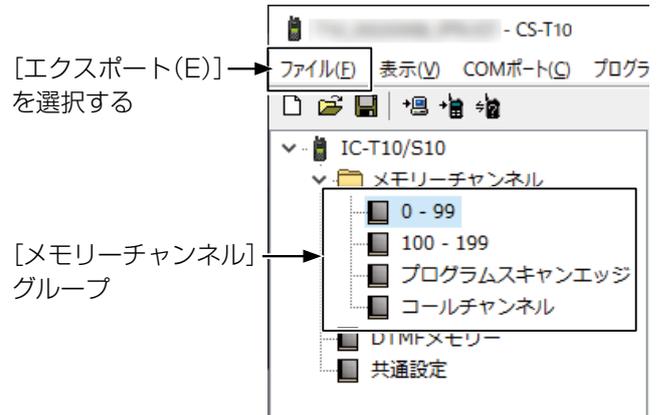
下記の手順でCS-T10を使用してメモリーチャンネルを編集し、CSVファイルにエクスポートできます。

1. メモリーチャンネルを編集する

1. CS-T10のツリービュー画面から、任意のメモリーチャンネルグループフォルダーを選択します。
 - ・メモリーチャンネルが表示されます。
2. メモリーチャンネルの各設定項目の編集をします。
 - ※編集方法について詳しくは、CS-T10のヘルプをご覧ください。

2. メモリーチャンネルをCSVに書き出す

1. CS-T10ツリービュー画面から、[メモリーチャンネル]フォルダーをダブルクリックします。
2. リストを出力したいメモリーチャンネルグループを選択し、[ファイル(F)]→[エクスポート(E)]をクリックします。



3. 「名前を付けて保存」画面で、ファイル名を入力し、任意のフォルダーに保存します。
 - ・メモリーチャンネル(CSVファイル)が保存されます。